

劇を通して啓発活動
二輪草の会寸劇

交流センターとんぼらで開催されたサロン「だんだん」で、二輪草の会が寸劇を披露されました。
二輪草の会は、町内外で寸劇やかかる遊びなどを通して、男女共同参画の啓発活動に取り組む団体です。
今回の寸劇は水戸黄門。アドリブ満載に、男女や貧富で差別することのない世の中にする様子を演じられました。
代表の和久利悦子さん(下来島)は、「楽しんでいただけて良かった。今後も男女共同参画の啓発を続けたい」と話していました。



会場は笑い声に包まれました

7.19
水

頓原の夏を彩るイベント
とんぼらふる里夏祭り

頓原の夏の風物詩「とんぼらふる里夏祭り」が頓原交流広場で開催されました。
特設ステージでは、桜ヶ台保育所園児による太鼓の演奏に始まり、頓原中吹奏楽部の演奏や飯南牡丹組のよさこいなどが催されました。地域の皆さんによる盆踊りや頓原音頭では、会場が一体となり会場が盛り上がりしました。
他にも、ヨーヨー釣りや飲食の夜店や打ち上げ花火もあり、多くの人で賑わいました。



お揃いの法被での盆踊りでお祭りムード

7.22
土

夢だった日藝選奨を受賞
高校生の神楽甲子園

広島県安芸高田市の「神楽ドーム」で開催された第12回「高校生の神楽甲子園」に、飯南高校生命地域ラボ・神楽愛好会が出場し、最優秀賞にあたる「日藝選奨」を受賞しました。
大会では、練習の成果を遺憾なく発揮。緩急のある伸びやかな奏楽と強弱のある演舞を披露。神楽愛好会結成から5年。4回目の挑戦で初受賞となりました。
神楽愛好会は、8月27日(日)ふれあいホールみせんで開催される「飯南高校神楽愛好会結成5周年公演」に出演予定です。



愛好会メンバー8人と指導するOB、教員も笑顔で記念撮影。達成感と笑顔が溢れました

7.22
土



演目は「山姥」。これまでの中で最高の演舞を披露しました



受賞校の発表。生徒や保護者、指導する飯南神楽団の皆さんで喜び合いました

全身を使ってシユート
ハンドボール教室

島根県ハンドボール協会主催の「飯南地区ハンドボール教室」が、飯南高校体育館で開催されました。
当日は、社会人チームを持つ(有)中山板金の中山直樹さんと飯南高校ハンドボール部員も小学生を指導。簡単なパスやキヤッチ、シユートの練習後、ミニゲームを行いました。
参加した小学生からは「普段はサッカーをしています。ハンドボールは初めてで、難しかったけど楽しくできました」との声が聞かれました。



ゴールに向かって思い切りシユート

7.23
日

23歳以下のボート世界選手権
小野田空羽さんが
日本代表として出場

ブルガリアで開催された「U23世界選手権」に、東京大学の小野田空羽さん(志津見出身)が出場されました。
小野田さんは今回の世界選手権で、軽量級シングルスカル競技に出場。総合16位という結果を収められました。
小野田さんは「初の国際レースでどこまで戦えるか不安もありましたが、実力は発揮できました。世界の壁は高いが、今後も努力して、勝負できる実力をつけていきたい」と話していました。



レースに挑む小野田さん(写真提供:JARA)

7.19
水
~7.23
日

大物を捕まえる
やまめのつかみ取り大会

谷程原地区のふれあい養魚場で、谷公民館主催の「やまめのつかみ取り大会」が開催されました。
天候に恵まれ、町内外から親子連れが約40人参加。全員での記念撮影後、小学校高学年以上は子どもだけで、低学年以下は親子で協力して、やまめを捕まえました。大会後は、谷青年協議会の皆さんが塩焼きにしたやまめをおいしくいただきました。
大物賞:藤原希衣さん(赤名)
大漁賞:澤田理生さん(出雲市)



必死に追いかけて全身びしょびしょに

7.23
日

暑さに負けず笑顔でプレー
ソフトボール交流大会・新チーム発足

赤名山村広場で「赤来地区ソフトボール交流大会」が開催されました。
大会には上赤名、小田真木、上来島、下来島の4チームが参加。汗を流し、熱戦を繰り広げました。
交流大会後には、2030島根県のみあり国民スポーツ大会に向けた新チーム「スラッガーズSC」を発表。新チームと赤来地区選抜チームの激励試合も開催されました。
参加者は「ソフトボールの魅力や楽しさを感じることができた」と話していました。



激励試合では新チームが勝利。これからの活動に弾みをつけました

8.6
日